

いことを数組の親子が集まってチャレンジしています。月2回の土曜日には、そんな親子が集まってパーティーを開催。手作りメニューでランチをしながら母さん同士、子ども同士の交流も活発になり、ますますにぎやかになってきました。

==ある日の“らっこ”==

「手づくりおもちゃであそぼう！」がテーマの今回の活動。手順書を見ながらペットボトル弓矢を作りました。よく飛ぶんですよ～\(^o^)/

「こうやって遊びます」というスタッフの説明に興味を持ってくれた子どもたち。ペットボトルの弓も、「矢」もはりきって作ってくれました。対戦型の「的あてゲーム」もしました。真剣勝負です！応援のし合いっこをし、楽しく盛り上がりました。



マラソンクラブ 参加者数：延べ204名

「継続して体力づくりができれば…」 「子どもに不足しがちな運動量を保障してあげたい！」 「思春期のエネルギー、同発散すればいいの？」などの声を聞いて始めました。みんなで楽しく走る練習をする中で、個々の目標も見えてきたり、やる気もいっぱい！堺市の公式なマラソン大会に出場したりもしました。



==ある日のマラソンクラブ==

ぶらむのマラソンクラブの中高校生メンバーが、『堺市民マラソン』に挑戦しました。伝統ある堺市の公式なマラソン大会。“3キロ完走コース”という種目にエントリー！なんと、このコースは1389人もの方が走ります。本格的なマラソン大会で、緊張感も高まる中、いざスタート！ スタート前は、予想外の雰囲気にも気持ちかなり不安定になりましたが、走り出すといつものペースで気持ちよく走っていたSくん。みんな揃って完走できたこと、スゴイです\(^▽^)/完走証を受け取って、達成感

いっぱい記念撮影～

自主グループ“ゼブラ” 参加者数：延べ80名

軽度知的、発達障がいの小学生親子の自主グループです。仲良し親子が、月に一度程度集まって目的を持った自主活動を、友だちと一緒に集団で取り組んでいます。



自主グループ“いるか” 参加者数：延べ136名

重度知的障がいの小中学生の自主グループです。月に一度程度、ボランティアさんと一緒に動作法を取り入れながら身体と心のリラックス方を学び合っています。

自主アートグループ 参加者数：4名

できたてホヤホヤの自主グループで、名前がまだ付いていません。重度知的障がいの小学生数組で、アートに取り組んでいます。家ではできないようなダイナミックなことは、子どもの目がキラキラ！お母さんも自然と笑顔になります。



特別企画 参加者数：延べ405名

通常活動とは別に、季節に応じた取り組みを意識しながら、以下のイベントを企画をしました。日頃の活動でできた友だちと一緒に参加することで、友だち同士の関係づくりに繋がったり、外出活動を通して社会のルールを学ぶよい機会となりました。また、ボランティアさんとの触れ合いを通して、大人との信頼関係を充分に築くことができ、充実した活動になりました。

●デゴイチバスツアー

京都の本格鉄道カフェで、本物の模型を動かしたり、レストランで食事をする体験をしました。



●関空社会見学

特急列車に乗車して、関空スカイビューへ行き見学。飛行機の発着を間近で見る体験をしました。



●長期休み活動（夏・冬・春休み）



友だちと一緒に宿題をし、お昼は毎日自炊しながら、長い時間集団で過ごしました。

●夏休み作品展示会

夏休みに友だちやボランティアさんと一緒に頑張って作った作品の展示会をしました。



●陶器山マラソン



陸上部の高校生ボランティアさんと一緒に楽しく走る体験をしました。家族参加も多数ありました。

●新年会

お鍋を囲んで親子で新年会をしました。お母さんたちのリードで、ほぼ子どもたちの手で準備をしました。



□■ 生活支援グッズの店 ぽっしゅ（記：山本明） ■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■



メディアに取り上げられるなど1年目は、ぽっしゅを知ってもらう、あるいは、「器」作りの年でした。

実店舗を構えての運営2年目の今年度は、その「器」に入れる本物のサービスを充実させることを課題として、障がい児母職員のみのスタッフ体制でスタートいたしました。

具体的には、①店舗でのよろず相談を受ける体制の充実 ②支援グッズの整理 ③提供する情報の内容整理 ④ニーズに応じたイベント企画 ⑤店舗外のショーケースの活用 です。

お陰様で昨年度より、繰り返し来所して下さるご本人及び保護者が増加いたしました。「試せる」「気楽に来れる」「単なる

相談ではなく、具体的な話が聴けるので、楽な気持ちになって帰れる」というお声を頂きました。また、特徴的だったのは、事業所関係者・学校関係者の来所が増えた事です。運営母体が福祉法人以外の事業所で、障害支援について/直面する問題についての相談というケースがありました。

ぽっしゅにおいては、びあカウンセリング的な相談よりも、暮らしベースの具体的な支援を一緒に考えさせていただく場所であることがなによりも喜ばれ、求められていることを再認識した1年です。

【H25年度の活動報告】

●ぽっしゅ 来店者数： 876人

販売件数：合計 1982件

●新規取扱い：順不同

すでにある支援グッズの選択肢を充実したいとの思いから、以下の取扱いを開始いたしました。人気が高かったのは、感覚グッズ「もーみーちゃん」で、ぽっしゅの看板になっている風船アート製作者よりご紹介いただきました。また、WEBで評判高かったのが「おんなのこのひのおていれ」でした。



スペース96さんとの新規預かり取引により、書籍の充実が図ることができました。

- ・「ツイストキッチンタイマー」・「月のカレンダー」・「iPad タッチャー用交換ジェルソート」

- ・「おんなのこのひのおていれ」・「ポケットカレンダー用絵カード」・「まってね・てつだってカード」
- ・「ペルダ社製キッズイヤーマフ、高遮音イヤーマフ」・「スペリアン社製折り畳みイヤーマフ」
- ・「ドロップモーション」・「もーみーちゃん」
- ・「災害に負けない防災ハンドブック」・「命を守る防災ハンドブック」
- ・コミュニケーションメモ帳の使いガイドなどの書籍新規タイトル22点



●情報提供：順不同

- ・インテリアタクト（おうちの構造化お手伝い）
- ・マルチメディア学習システム天神（学習ソフト）
- ・パシフィックサプライ（VOCA／入力補助装置／感覚統合器具）
- ・イワタデザイン（キーガード付きキーボード）・上海屋（キッズ用デカキーキーボード）
- ・兵庫県立福祉のまちづくり研究所（知的障害者 暮らしのアイデアブック 2013）
- ・e=AT 利用促進協会（障害のある子どもたちのための携帯情報端末を利用した学習支援マニュアル）
- ・株式会社おめめどう（トータルセミナー等各種セミナー／各種資料・有料ネットサービス）など

●ぼっしえ出張販売など店舗以外での販売：



ご来店がむずかしい方々にもいろいろな支援グッズを「見て・触って・知って」もらうように、ご依頼いただいたところへ出張販売させていただきました。販売にあわせて、支援グッズのセミナーのご要望もあり、ばれっととタイアップし行ったところ大変好評でした。

さらには、全国からのネットを経由してのお問い合わせも多くあったため、ニーズにこたえる形で、本格的なネットショップ構築に着手いたしました。（※ネットショップの営業開始はH26年4月1日より）

5月	・「楽に楽しく食べるシアワセ～箸蔵くんフェア」・おめめどうコーナー設置
6月	・店舗陳列棚等の模様替え・アドプラスコーナー設置・e-AT放課後デイ事業所へご紹介
7月	・堺市手をつなぐ育成会様出張販売 7/5 ・店舗再構造化 ・堺支援学校 福祉益まつり PTAへe-AT機器の協力 7/20 ・大阪社会福祉協議会発行「福祉おおさか」特集ページにぼっしえの取り組み掲載 7/1 ・「はじめよう～わくわくスケジュール スケジュール支援グッズ特集」
8月	・「あのね♪DSお客様感謝キャンペーン」
9月	・「BOOKフェア」
10月	・「カレンダー特集」★新規取引：シーガル（ビニールポケットカレンダー他）
11月	・☆感覚グッズ「もーみーちゃん」取扱い開始★新規取引：作業所ぐりいと ・NPO法人クララ主催「発達障害児者 暮らし市 2013」出張販売 11/17
12月	・☆手順書「おんなのこのひのおていれ」取扱い開始 ・クリスマスのしつらえ ・☆イヤーマフ「キッズイヤーマフ他」取扱い開始 ・ぼっしえ店長のきまぐれメルマガ復活 ・児童発達支援センター キンダーハイム職員研修出張展示 1/17
1月	・☆複数の新規書籍の取扱い開始★新規取引：スペース96 ・オリジナル企画「おめめどうスターターセット」販売開始 ・ネットショップ計画 ・☆新規「防災ハンドブック」★新規取引：PORO工房
2月	・☆タイマー「ツイストキッチンタイマー」取扱い開始 ・店内再構造化 ・「サポートブック特集～サポートブックに関する書籍のご案内」 ・児童発達支援センター キンダーハイム保護者会出張販売 2/5
3月	・障害支援情報の持ち帰り資料コーナーの模様替え ・ネットショップ着手

【定期開催のグループワーク支援紹介】

● **小さなセミナー** (記: 山本寿) ++++++

専門家の先生がお話する「大きな講演会」ではなく、もっと身近なテーマで暮らしに「即・つながる」勉強などをするため、少人数のグループワークを月2～4回程度開催しています。テーマを一つに絞った少人数のセミナーのため、「同じ悩みを持つ参加者どうして、和気あいあいと話しやすいムードがいい」と好評いただいています。

また、支援グッズなどを作りながら、そのノウハウが学べる制作会も人気のプログラムとなっています。

【H25年度の活動報告】

■実施回数：28回 (年間参加総数 119名)

- 実施内容：制作会「子ども紹介プリント」4名 「始めてみよう！スケジュール」8名
 「お出かけグッズ制作会」4名 「ソーシャルストーリーを作ろう」4名
 「サポートブック制作会」(2回開催) 6名
- 研修 「ヘルパーの利用と制度」3名 「快適な住まい～我が家の構造化」4名
 「放課後に使えるサービスなど」5名
- 座談会「新学期座談会」7名 「発達障がい・知的障がいの学習」4名
 「こんな子育てやってます～頑張らなくていいんだよ」3名
 「学校・先生とのつきあい方」3名 「夏休みの過ごし方」4名
 「語ろう！思春期の悩み」3名 「ぴーすの就園・就学相談会(幼児向け)」14名
 「進学・進路について(中学・高校)」8名 「不登校・行きしぶりなどの悩み」6名
 「障がい児のきょうだい座談会」3名
 「みんなどうしてる？身辺自立～トイレ着替食事など」6名
 「アスペルガー AD/HD 座談会」3名 「どうしてる？病院・歯医者・散髪」2名
 「ことばとコミュニケーションについて」3名 「困った行動～問題行動について」1名
 「障がい児のいる家族～きょうだい・父・祖父母の想い」7名
- その他「防災ワークショップ」4名 (その他2回開催 参加者なし)



＝＝ **小さなセミナー 参加者の感想より抜粋** ＝＝

★「不登校・行きしぶりの悩み」に参加のお母さん

参考になる情報がいろいろ聞けてうれしかったです。「行けてないことで(子どもが)自分にダメ出ししているかも」というのは気遣って様子を見守っていかうと思いました。

★「快適なすまい～我が家の構造化」に参加のお母さん

答えは見えているのに、なぜか実行していない自分に改めて気づかされた時間で、なぜか泣きそうになりました。気づけて本当に良かったです。

★「ことばとコミュニケーションについて」に参加のお母さん

自閉症スペクトラムと診断されてから主人と話し合ってきましたが、なかなか分かり合えない部分が多く、両親も「いつかは治る」の一点張りで相談相手がいなくて辛かったのですが、皆さんから共感できる話を聞いて救われた気持ちになりました。自分の想いを言葉にするだけでもホッとしました。

★「サポートブック制作会」に参加のお母さん

今日は、自分で作ったサポートブックを見てもらって、具体的にアドバイスがいただけたことがとても良かったです。マップのように書いていく手法で、どんどん自分の思っていたことを書いていくことは本当に面白く、家に帰ってからも思いついたときに書き留めています。時間内では、なかなか思いつかなかったエピソードをどんどん書き溜めており、あとは、修正と支援者さんに分かりやすいレイアウトやスリムなサポートブックにしたいと思います。

★「進学・進路について(中学・高校)」に参加のお母さん

渡邊先生から貴重なお話をお伺いできて参考になりました。資料やスライドもあり、わかりやすかったです。今後、子どもの進路について、本人に合った進路を考えていこうと思いました。一番大切なことは、本人が生活を楽しめることとおっしゃいましたが、本当にその通りだと思います。子どものサポートをしていけたらとつくづ

く思いました。

★「夏休みの過ごし方」に参加のお母さん

家で一日過ごせる力をつけるというのと、一日にメリハリをつけるようにする、という点が印象に残りました。夏休み=長い=ゾットする…という思いがありましたが、息抜きする日も入れながら、長いからこそ親子で何かにチャレンジできる夏休みになればいいなあ、と思いました。

●しゃべり場（記：福原）+++++

堺東高校の渡邊元嗣先生（なべさん）をボランティアで迎え、当事者向けプログラムとして活動しています。「いつでも誰でも自由に」のスタイルで、当事者の方々の日常生活の小さな悩み相談から、趣味や余暇活動を共感し合う場として開催。開催日は、就労や訓練中の障がい者の方も利用しやすいよう「土曜日」とし、生きがい、仲間作りを目的に進めて来ました。

なべさんが精神保健福祉士・学校心理士・特別支援教育士の立場からさまざまな相談にも対応。一人ひとりの利用者が地域の中で「自立した日常生活」「社会生活」を営むことを支援する「なべ先生のしゃべり場」は回数を重ねるごとに徐々に浸透し、ぱれっとが素敵な居場所として活用できる貴重なプログラムとなりました。

【H25年度の活動報告】

■実施回数 29回（年間参加総数 186名）

＝活動の様子＝

★Ｙくんの２０歳のお誕生日会でした。ケーキに「HAPPY BIRTHDAY」のろうそくを立て Ｈさんのウクレレ演奏をバックにみなで歌を歌いました。Ｙさん初めみなさんの素敵な笑顔！！「若いっていいねえ。青春だねえ！」とつぶやいたゆうゆう。でした。Ｔさんは、お父さんがお仕事でポンガしを作られているそうで、お土産に持ってきてくださりみなでいただきました。ありがとうございます！お友達の輪はどんどん広がっていき、今回は作業療法のお仕事をされている方・新しい支援センターで相談員をされる方なども来られました。



★最近【なべさんのしゃべり場】男子の間では、カードゲームがはやっています。マイカードを持参で熱く戦っているようです。あまりに真剣なまなざしで勝負しているのでこのカードはレアなん？と私が質問してもあー、はい。と上の空（苦笑）茶々入れてすみません。堺東高校ボランティア部の女子たちは、おもちゃ図書館ぽっぽのボラもしてくださって、小さなお子さんと楽しそうに遊んでいました。今回もなべさんの持ってきてくださったおやつを、ぽっぽにお越しの方と合同でいただきました。そこで記念撮影です♪この日は【おもちゃ図書館ぽっぽ】の縁日の日でしたのでスタッフさんが法被姿です♪（貴重です）皆が一緒の空間で楽しく過ごせてよかったです。

★「春」は卒業・入学・進級・就職と目まぐるしく状況が変わっていく季節です。しゃべり場メンバーさんもこの春には環境が変わられる方がたくさんいます。☆☆☆ Ｈさんは中学をご卒業、そして高校進学が決定されたそうです♪ Ｓさんは高校をご卒業。専門学校に通われるとの事です♪ ＴさんとＫさんは大学進学です♪皆様、ご卒業おめでとうございます♪これからも元気で充実した毎日を送られることを願っています(*^_^*) この日は、なべさんを囲んでみなさん近況をお話しされていました。男性陣は「カードゲーム」が流行っていて熱い戦いを繰り広げておられました。女性陣は世間話？（笑）に花が咲いていたようですね☆「おもちゃ図書館ぽっぽ」のボランティアや「ぶらむ・マラソンクラブ」のお手伝いも引き受けてくださいました。とても楽しい時間はあっという間に終わり恒例の記念写真を撮りました。

●できるパソコン教室（記：山本明）+++++

平成25年10月より開始した、新しいグループ支援。「子どもの支援グッズ作成で使いたいけど、やり方がわからない。」「親の会のニュースの作成をパソコンでしてみたい。」など、パソコンは家にあるけどイマイチ使いこなせていない・・・という利用者のニーズにこたえる形で企画したグループ支援。来年度、利用増が見込まれます。



【H25年度の活動報告】

■実施回数：7回（年間参加総数 10名）

＝＝ブログより、活動の様子・参加者の感想＝＝

この日は、グーグルの画像検索のちょっとしたコツを使って、年賀状作成にトライしました。「馬 イラスト」「年賀 イラスト」「2014 イラスト」などのキーワードで検索をかけ画像をコピー、そしてワードにペースト。画像の組み合わせと配置の仕方によって、年賀状の印象がガラリと変わることを体験していただきました。一見、複雑に見えるお手本の年賀状でしたが「思っているより簡単にできた」と、参加者さん！

<参加者の感想>

「ワード初体験。簡単な絵カードスケジュールまでできるとは、思わなかったです。家で触る時間がなかなか取れないのですが、忘れないように復習したいと思います。」

●iPad 活用セミナー（記：山本明）+++++

平成25年10月より、開始した新しいグループ支援。iPadが学校や家庭へ爆発的に普及し、それに比例して、障害のある人への支援に活用した事例報告を新聞やネットニュースで良く見かけるようになりました。利用者からも「買ったけど、使えていない。」「どんなことに使えるの?」「子どもが使うに当たっての注意点は?」などタブレットに関する質問が多くなってきたため、そのニーズにこたえる形で企画したものです。

【H25年度の活動報告】

■実施回数：5回（年間参加総数 11名）

＝＝ブログより、活動の様子・参加者の感想＝＝

iBooksやi文庫HDなどの「電子書籍リーダー」アプリの活用方法を学びました。まずは、講師のiPadでサポートブックを閲覧。ほかにも、絵本や文庫を閲覧して、その便利さを体験しました。次にパソコンにつないで、iTunesを活用しPDFファイルを転送！さらには、手書きアプリ：UPADの活用にもチャレンジしました。ご家庭には、お子さんのモノしかなかったという参加者Aさん。連続でセミナーに参加するうちに、自分専用のものが欲しくなり、購入されました。共有するのではなく、それぞれに自分専用のものをというのが素敵ですね♪3/18は、初心者の方の参加でした。基本の操作やお子さん向けのアプリをご紹介します、実際に体験しました。

<参加者の感想>

本当に本当に来てよかったです！！知らなかったことがわかったり、お得ですぐに役立つ事ばかり！！早速、子どもも私も楽しみながら活用いたします♪また続きで来させていただきます♪

●おもちゃ図書館 ぼっぼ（記：辻）+++++

●開催回数：251回（年間参加者総数 1387人）

●おもちゃ貸出：年間貸出総数 107点 / 団体への貸出件数 1件

●その他の活動

機関紙よってTOYで!	編集会議・印刷	年11回	延べ 71名
クリーニング	おもちゃの清掃	年10回	延べ 60名
運営会議	運営について	年11回	延べ 71名
総会		年 1回	10名
イエローシートキャンペーン	啓発活動	年 8回	29名
合計			241名

（開館日・その他の活動合わせての延べ総数 1628名）

障がい児の母がボランティアで活動しているおもちゃ図書館ぼっぼを、ぱれっとが常設運営をサポートするグループワークプログラム。たくさんのおもちゃが揃っている中で、障がい児とその兄弟が気がねなくのびのびと自由に遊べる場所の提供をしています。対象は0才～10才程度の障がい児とその家族。好きなだけ遊んでおしゃべりして時を過ごせる空間です。

平成9年から活動を開始し、16年目を迎えました。目的は「障がい児が主役になれること」そしてその内容は、

「おもちゃで遊ぶ」そんなシンプルな活動を、障がい児の母がボランティアとなり地道に続けています。

== **ぼっぼ担当者より** ==

平成25年度は、常設ぼっぼでスタートしました。平日も開館の効果で、非常にたくさんの方にご利用いただくことができました。夏祭り・クリスマス・豆まき・・・と、季節ごとに手作りのイベントを開催し、活動内容も変化をもたせることで、さらに楽しんでいただけたかと思えます。

今年度の活動で特徴的だったのは、土曜日開催のしゃべり場の利用者が、ボランティアでスタッフとして活躍する機会があったことです。たとえば、バルーンアートをしてくれた障害のある女子高校生。出来た風船を子ども達は、大喜びで持って帰っていました。本人もほぼ毎週ボランティア参加するほど意欲的でした。そして、不参加の土曜日は、「お姉ちゃんはやらないの？」と尋ねるこどもがいるほどの存在になっています。

== **ある日のぼっぼ** ==



今日のぼっぼはいつもと違う?! そう♪クリスマスぼっぼ(*^o^*)サンタに扮したボラがスタンバイ。受付もクリスマスに飾り付け☆可愛いサンタとトナカイも、子どもたちの来館をお待かねです。

ボラのバルーンアートも大人気。思わぬバルーンのプレゼントにみんな喜んでいましたよ。

最後にぼっぼから子どもたち、そしていつもいつも頑張っているお母さんに、クリスマスプレゼントをお渡ししました。とっても大盛況だった1日でした。

【日常生活支援による居場所プログラムから ~自主活動紹介~】

●**外出グループぴっぴ** (記：松田) +-----+

小学4年生以上の障がい児が「友人と」外出する自主活動。ぱれっとでは、その活動に必要なサポートを「子どもの自主性を重視」「やれることは自分たちで」をモットーに提供しています。活動の中身は主にミーティング。外出先での体験を振り返ったり、今後外出するために必要なことを調べたり、自主的に楽しく活動しています。

- ぴっぴ2** 軽度知的障がいの中高生男子のグループ：活動回数 3回 (年間延べ参加数 20名)
- ぴっぴ7** 軽度知的障がいの中高生女子のグループ：活動回数 1回 (年間延べ参加数 3名)

== **ぴっぴ担当者より** ==

ぱれっとにてミーティングをするという活動が定着して2年目に入りました。①自分の近況報告 ②外出活動の報告と振り返り ③今後のことを決める という流れが定着し、行き先を決定する際にはメンバーが自主的にホワイトボードの前に立ち、ミーティングを進行する場面も見られました。パソコンを使って行き先までのルート調べたり、交通機関の料金を調べたりと、準備に関わる調べものも自分たちでできるようになりました。活動の中身はだんだんと濃いものになってきています。

外出先は、金剛登山・近つ飛鳥博物館・海遊館・スパワールド・ユニバーサルスタシオ・サンタマリア号・映画&ショッピング などなど…バラエティーに富んだ行き先。外出先ではそれぞれ友だちと一緒に楽しめたようです。

== **メンバーの感想** ==

★**ぴっぴ2**

- ・ミーティングがスムーズで早く決めることができた。
- ・ルートとか決めたのでわかりやすかった。
- ・山登りはしんどかったけど、良い活動になりました。またやってみたいと思います。



・サンタマリア号ではきれいな景色をながめることができよかったです。〇〇君も快適そうにしていました。港大橋の下をくぐったとき、赤くてはく力がありました。

★**ぴっぴ7**

- ・Mioでのショッピングでは、気に入ったスカートが見つからなくて残念だった。
- ・映画はドラえもんのエンディングのうたが良かった。
- ・先のことが決まって安心した。

●**その他の自主活動紹介** (記：福原) +-----+

その他、芸術・趣味的な活動に取り組む利用者が、活動に対し「自ら、何をするか考え、見つけ、広げる」こと、そして見つけた活動の「具体的な活動内容を選ぶ、準備する、実行する、達成感を味わう」ことを、ぱれっとはフレキシブルな形・方法で支援をしています。

■豊明の世界

福山豊明さんの自主活動。趣味のさをり織りの展示会を4日間に渡って開催しました。

活動回数：1回 実施日：10月9日～10月12日 参加者108名

==活動のようす ==



本年度も、豊明さんの織りなす素晴らしいさをり織りの作品で会場が華やかになりました。とても穏やかで優しい豊明さんと、いつも笑顔で楽しいお母様のもとに、たくさんの方々がいらっしゃいました。作品を楽しみに待っていた方や、豊明さん親子のお手伝いに来られた方、そして、さをり織りの体験に来た子どもたちと楽しそうに交流されていました。子どもたちは、コツがわかってくると、とても楽しそうでした。福山さん親子のお人柄がとっても温かく訪れてくれた人たちは、お母さんが入れて下さるお茶をいただきながら、長い間おしゃべりに花が咲いていました。

■めだか教室・えのきはいむ 保護者会の集まりなど

- ・めだか教室メンバーさんよりお申込みいただき、アルバムの作成をされました。活動日 3月8日 15名参加
- ・えのきはいむの保護者よりお申込みいただき、アルバムの作成をされました。活動日 3月15日 14名参加

■上記以外 事前に部屋予約等のあった自主活動支援

4月3日	シンガーソングライター TSUYOSHI ミニライブ
4月3日	さかい障がい児放課後連絡会 交流室使用
4月12日	さかい障がい児放課後連絡会 交流室使用
5月1日	さかい障がい児放課後連絡会 交流室使用
5月10日	さかい障がい児放課後連絡会 交流室使用
5月18日	ぴっぴ2 ミーティング
5月23日	さかい障がい児放課後連絡会 交流室使用
6月27日	さかい障がい児放課後連絡会 交流室使用
6月29日	ぴっぴ7 ミーティング
7月1日	おもちゃ図書館ぽっぽ おもちゃのクリーニング
7月23日	えのきはいむ保護者会の作業
9月9日	おもちゃ図書館ぽっぽ おもちゃのクリーニング
9月21日	ぴっぴ2 ミーティング
9月25日	百舌鳥支援学校 中1の保護者のつどい ～ぱれっと/ぽっしえ見学～
10月8日～12日	さをり織り 「豊明の世界展」
10月9日	シャンソンコンサート ～福山正枝さんとシャンソン教室のメンバーの発表会～
11月25日	おもちゃ図書館ぽっぽ おもちゃのクリーニング
1月11日	ぴっぴ2 ミーティング
1月20日	おもちゃ図書館ぽっぽ おもちゃのクリーニング
2月17日	おもちゃ図書館ぽっぽ おもちゃのクリーニング
3月1日-末日	自主活動のサポート 北原徳美さん自作作品の展示
3月12日	めだか教室保護者のつどい アルバム作り
3月15日	えのきはいむ保護者のつどい アルバム作り
3月17日	おもちゃ図書館ぽっぽ おもちゃのクリーニング

上記以外にも、個人で、ボランティア等で自主的に活動された利用者が多数ありました。

【生きがい・仲間づくり支援】

●**情報提供**（記：山本明／山本寿／榎谷）+++++
障がい児やその家族の暮らしに役立つ情報を、メール(パソコンや携帯)などを利用して提供しています。具体的には、以下の3つの方法で行っています。

1：メールニュース『ふぁにい』

月曜～金曜までの毎日、携帯やパソコンへのメールニュースを配信。生活に密着した情報をタイムリーに届けることができる「欲しい情報が欲しい時に手に入る」ニュースです。

■平成25年度総配信数： 348 件 （期間H25年4月～H26年3月 月平均配信数 31件）

平成25年度 ふぁにい配信状況													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配信合計本数	27	30	37	31	24	29	38	31	28	21	26	26	348
福祉行政制度							3	3		1	1	4	7
民間の社会資源	2	2	1	1			2	2	5	1	4	2	22
お得情報/障害割引情報		1	1			1			1				4
余暇 お出かけ情報	2			7	1	3	1			1	1	2	18
余暇 エンタメ情報	2	1	2	4			1				2	1	13
余暇 文化活動		1	1	2	2	3	1	2	1	1	1	3	18
余暇 イベント	5	2	3	2	4	4	5	4	1	1	1	3	35
セミナー/講演会/学習会	7	9	9	7	4	6	9	8	9	8	8	7	91
書籍/番組/モノ等の紹介	8		5		1	1	4	5	1	3	3	1	32
ぴーすからのお知らせ	1	14	15	8	12	11	12	7	10	5	5	3	103

■記事内容（抜粋）

- ★福祉行政制度…障害者総合支援法、一部が改正・堺市 教育に関する相談、悩みや心配事の相談機関
- ★民間の社会資源…さわだメンタルクリニックが2月1日開院予定・災害伝言ダイヤル
- ★お得情報/障害割引情報…青い鳥郵便はがきの無償配布のおしらせ・JR 鉄道運賃
- ★余暇（おでかけ・エンタメ・文化活動・イベント情報）…トイトイパーク・発達障がい者暮らし市
- ★セミナー/講習会/学習会…障がい児者性教育セミナー・自閉症スペクトラム障がい講座
- ★書籍/番組/モノ等の紹介…カラフルデカキー採用のキーボード・TV番組「自閉っ子 学校へ行く」
- ★ぴーすからのお知らせ…出前あい・ふぁいるセミナー・ぼっしえ・ぷらむ・小さなセミナーなど企画もの

＝ ふぁにい担当者より ＝

今年度も関係機関や団体、利用会員様からたくさんの情報をいただき、幅広い情報を配信することができました。みなさんの「知っている」「伝えたい」などの想いがふぁにいニュースになった一年でした。今後もいろんなニーズにお応えできるように、バラエティに富んだ内容で配信をしていきたいと思っております。

2：ぴーすのブログ <http://sakai-comcom.net/p-s/>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本数	25	16	37	41	42	32	36	29	40	25	32	21

■年間総記事数 376本

＝ ブログ担当者より ＝

「ブログを見ました！」と、来所された新規の利用者が複数あるなど、ひろく一般へのPRツールとして、重要な役割を果たしていることが実感できました。来年度も、各事業からバラエティに富んだ内容をご紹介できるようにしていきたいと思ひます。

3：ぴーすのホームページ <http://p-s-sakai.net/>

リニューアルが必要な状態であり、今年度は大きな変更点はありません。担当者会議において、新しいホームページの概要が出来上がったのが今年度の成果です。来年度には、ソーシャルネットワークと連携した新しいホームページの活用により、利用者にとって魅力的な情報提供ができることと思ひます。

4：図書／資料（閲覧貸出）情報コーナー



障害に関する書籍を誰でも自由に閲覧、借りることができるコーナーです。発達障がいや知的障がいについて学ぶ書籍を中心に、専門的なものからマンガまで各種取り揃えています。他にも、関係団体の会報誌や雑誌、行政などで作成された障害に関する啓発物などもご自由にご覧いただけます。

昨年はぱれっと交流室に設置していましたが、待合ホールに引っ越しし、ちょっとした待ち時間にも、お手にとってご覧いただけるようになりました。一番人気だったのは：「光とともに・・・」各巻でした。

5：展示・啓発掲示板コーナー

シーズンごとの障害に関するテーマを掲示板にて啓発しているコーナーです。ぱれっと待合ホールにあるので、来所していただいたついでに、ご覧いただいています。交流室の展示では、貴重な資料やパネルを貼りだし、お持ち帰り用の資料も用意しました。おもちゃ図書館ぼっぼや研修、セミナーにお越しくださったたくさんの方に、ご利用いただきました。

【平成 25 年度の報告】

	■ぱれっと啓発掲示板	■展示
5月・6月	「発達障害啓発」 政府広報オンラインよりお役立ちHP「発達障害ってなんだろう？」をご案内しました。	
7月	「夏のおでかけ情報」 子ども連れでも行きやすい関西のオススメスポットを紹介しました。	
8月	「障がい児者の e-AT 活用事例」 様々なシーンに e-AT を活用している障がい児者を紹介しました。	
9月・10月	「オススメ書籍」 amazon で高評価がついている書籍を紹介しました。	
11月	「アウトサイダーアート」 障がい者のアートを世におくりだす支援をしている団体や、各分野で活躍中のアウトサイダーアーティストたちを紹介しました。	
12月・1月	「知的障害啓発」 大阪で知的障害の啓発をおこなっている「大阪P&A」さんを紹介しました。	「知的障害啓発フェア」 大阪で知的障害の啓発をおこなっている「大阪P&A」さんの資料を紹介。大阪ふれあいおりがみや、知的障害がテーマの書籍も展示しました。
2月・3月	「障がい児者の防災」 おめめどうハルヤンネさんの防災の取り組みを紹介しました。	「ぴーすの防災の取り組み」 8年前から取り組んできた「ぴーすの防災の取り組み」を、貴重なメディアの記事やパネルなどで知っていただけるように展示しました。

====担当者より====

啓発コーナーは、ぴーすでは初めての試みという事で、資料づくりも手さぐりでした。各テーマの調査をしていくうちに、知らなかった事や改めて気づく事が多く、視野が広がった気がします。ぱれっとに来所された方々が、ぱっと目につくような掲示板になるように工夫していこうと思ひます。

【地域関係機関との連携サービスによるプログラム紹介】

●主催イベントなど（記：辻） ++++++
 利用者のニーズや季節などをあわせて、センター以外の場所を使用し、催事などを開催しました。

■講演会 ※平成25年度は、開催なし

■春のバスツアー～淡路夢舞台～

法人との共催で行いました。障がい児・者とその家族対象に、春休み時期に、花と緑がいっぱいの淡路夢舞台へ行きました。今年度で3回目の開催で78名の方(内ばれっと利用者30名)が参加されました。大型バスに乗って遠足気分でお出かけ。現地では、遊具やスワンボートなどを満喫しました。お花がいっぱい咲いていて季節感あふれる楽しい企画となりました。



●講師／発表者を派遣した講演会・会議等（記：山本明） ++++++
 ▼講師派遣（講演会・セミナーなど）

4月13日	社会福祉法人 障友会 堺みなみ主催 防災勉強会
5月7日	堺東高等学校 福祉科科目 社会福祉基礎の授業 社会人講師 「障害のある子どもたちと向き合うこと」
6月7日	移動支援ネットワークさかい主催 第1回ガイドヘルパー現任者研修会 児童の移動支援講座
6月11日	もず園保護者会主催 コンサート(演目手配のサポート)
6月26日	堺市主催 「あい・ふあいる」活用セミナー～つながろう、つなげよう～
6月30日	テイクオフ堺主催 発達障害児者の利用できるサービス・制度
7月5日	堺市手をつなぐ育成会主催 「総会&情報交換会」への支援グッズ等紹介と展示
7月20日	大阪府立堺支援学校主催 福祉盆おどり PTA ブース出展「e-AT を活用した遊びの体験会」
7月21日	生活協同組合エスコープ大阪主催 防災について
7月23日	堺市立津久野小学校職員研修 障がい児をともに育てる～お母さんの理解と支援～
7月23日	北保健センター主催 「北っ子クローバー ～支援グッズや役に立つ書籍の展示会及び e-AT を活用した遊びの体験会」
9月10日	加古川市立陵南公民館 自閉症療育講座 「障がい児のための防災を考える」
9月13日	第2もず園主催 保護者学習会「今までの子育てを振り返って」
9月13日 17日 19日	親と子の療育支援センターおおぞら主催 めだか親子教室 保護者学習会「先輩保護者による子育ての体験談から」
9月17日	大阪手をつなぐ育成会 政策フォーラム
9月25日	中区障害者自立支援協議会主催 障がい児プランの実際を学ぼう
9月30日	地域活動支援センター リングリング主催 当事者向け防災ワークショップ
10月1日	寝屋川市障害者団体協議会主催 障害児者のための防災
10月1日	生活介護作業所 たまごハウス主催 「iPad 等 支援機器体験会」
10月5日	徳島県発達障害者総合支援センター主催 「発達障害」知って備える防災講演会
10月15日	教育研究会（中学校特別支援教育）～障がい児の保護者支援～
10月16日	社会福祉法人 ばなな サニーサイト主催 施設防災について考える
10月23日	社会福祉法人 松原市社会福祉協議会主催 『「自立」に向けた支援と親の自立とは…』
11月11日	堺市健康福祉局高齢施策推進課 堺市社会福祉協議会地域福祉課 主催 地域福祉フォーラム

11月12日	堺市難病患者支援センター主催「難病のある子の進路について」
11月20日	大阪府立堺東高等学校 社会福祉援助技術 社会人講師 「障害のある子どもたちと向き合うこと」
11月21日	えのきはいむ保護者会主催 コンサート（演目手配のサポート）
11月22日	和歌山県難病・子ども保健相談支援センター主催 「長期療養児と障がい児者のための防災ワークショップ」
12月11日	堺市立野田中学校主催 障がい啓発授業 ～障がい理解学習について～
12月16日	和歌山県立紀伊コスモス支援学校育友会主催 防災について～家で学校で取り組むこと
1月17日	児童発達支援センターキンダーハイム職員主催 「子どもが主役！具体例に学ぶ支援グッズの使い方」
2月5日	児童発達支援センターキンダーハイム保護者会主催「子どもが主役！具体例に学ぶ支援グッズの使い方」
2月6日	豊中市民生・児童委員協議会連合会主催 障がい者の防災と避難について
2月7日	堺障害フォーラム 第5回つどい 災害時における障がい者の避難について考える
2月10日	やまびこ学園 保護者会主催 災害時のバリアフリーを目指して ～障がい児を抱える母として今できること～
2月20日	上神谷支援学校小学部3年 保護者のつどい 防災ワークショップ
2月21日	ビッグアイ主催 災害時に動ける障がい者の防災・避難講座
2月21日	社会福祉法人コスモス主催 職員研修 「障がい児を取り巻く情勢・支援を学習し、今後の支援のあり方を検討していく」
2月26日	出前あい・ふぁいるセミナー
2月28日	出前あい・ふぁいるセミナー
3月3日	出前あい・ふぁいるセミナー
3月10日	堺市子ども家庭課主催 「あい・ふぁいる活用セミナー ～つながろう、つなげよう～」
3月15日	多可町手をつなぐ育成会主催 障がい者のための防災を考える～災害から障害者を守るには～
3月16日	堺脳損傷協会主催 障害者・家族の防災の心構え
3月17日	出前あい・ふぁいるセミナー
4月18日	堺障害者団体連絡会 国会懇談会

▼協働・その他

6月24日	堺市育成会成人部会 権利擁護センター見学
9月24日	第54回 大阪知的障がい者福祉大会
10月15日	堀和清先生作成『災害に負けない防災ハンドブック』協力
11月22日	「他事業所への支援グッズ紹介」放課後等デイサービス ハピスポ
11月25日	支援グッズの貸し出し 「放課後デイサービス ハピスポ」
1月25日	大阪樟蔭女子大学 見学対応「支援グッズについて」
1月25日	新開発感覚遊具のモニタリング依頼（パシフィックサプライ）
2月3日	堀和清先生 防災など企画相談
3月1日～	いのちの講演会実行委員会主催 「笑顔の戦士 いのちの講演会」生きているって幸せ チラシ配布等協力
3月8日	大阪手をつなぐ育成会 ふろむわん研修会の審査員
3月13日	堺市立上神谷支援学校 中学部 卒業証書授与式
3月18日	堺市百舌鳥支援学校 小学部 卒業証書授与式

1. 広報・受講者募集

・ぴあリーダー養成講習受講者募集のため、広報さかい10月号で告知。堺市内小学校・中学校の支援学級・支援学校在籍児童・生徒保護者にチラシ配布した結果、65名の方が申し込みをされました。

・出前あい・ふあいる活用セミナー参加者募集。広報さかい1月号で告知。堺市内小学校・中学校の支援学級支援学校在籍児童・生徒保護者、幼稚園・保育所・通園施設の園児の保護者にチラシを配布した結果、4グループが申し込みをされました。

① ぴあリーダー講義型研修 延べ265名

テ - マ	実施日	参加人数
オリエンテーション及び必須研修1 『障がい児の母の支援絵について』	11/15・29	64
自由参加研修2 『わが子の未来のために保護者・支援者のできること』	12/5	22
必須研修3 『障害受容について』	1/10・17	62
必須研修4 『相談・話を聴く時の基本知識』	2/4・18	58
必須研修5 『話を伝える技術』	3/4	59

② ぴあリーダー実地型セミナー 延べ参加人数48名 延べぴあリーダー参加人数83名

テ - マ	実施日	参加人数	ぴあリーダー参加人数
あい・ふあいる活用セミナー	12/13 1/24 2/14		55
出前あい・ふあいる活用セミナー 第2つぼみ園 保護者	2/26	11	5
出前あい・ふあいる活用セミナー 百舌鳥小学校支援学級 保護者	2/28	7	6
出前あい・ふあいる活用セミナー 第2つぼみ園 保護者	3/3	8	4
出前あい・ふあいる活用セミナー えのきはいむ 保護者	3/17	22	13

□■ ぴーすの支援プランセンター（記：出来） □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

【事業紹介】

平成25年度は、指定相談事業所となり2年目の年となりました。障害のある方やそのお子さんの希望する暮らしを実現させるべく、アセスメントを行い、必要な障害福祉サービス利用を考え、事業所調整やサービス担当者会議を開催し計画案の作成。計画案作成後は、サービス利用の状況を確認するためにモニタリングを実施し、ご本人、ご家族のニーズにあった暮らしができるようサポートを行いました。

【平成25年度活動報告】

- 年間相談件数 787件 ●年間新規契約実人数 27件 ●合計契約実人数 140件
- 「障害児相談」計画案作成件数 151件 モニタリング件数 420件
- 「計画相談」計画案作成件数 13件 モニタリング件数 51件

＝担当者より 1年を振り返って＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

ぴーすの支援プランセンターになり2年目となった今年は、指定相談支援事業の周知もだんだんと広まる中、特に児童発達支援に関する相談が増加する傾向にある年でした。幼児期に少しでも発達を促していきたいという保護者の願いは昔も今も変わらず、又同時に将来に対する漠然とした不安も大きい時期、相談支援の必要性を新たに感じる日々でした。今後もご本人、ご家族の暮らしのサポートができるよう、担当者一同がんばっていきたくと思っています。

□■ ぴーすの児童デイ（放課後等デイサービス・児童発達支援事業） □■□■□■□■□■□■□■□■□■

ぴーすでは（法人設立前の前身団体が実施していた）平成16年度から「障がい児の放課後活動」に取り組んできました。その間、活動の運営を安定・継続すべく堺市ファミリーデイサポート事業（家賃補助）→堺市障害児放

課後活動等支援事業→障害者自立支援法/児童デイサービスと事業形態を変更してきました。

その児童デイサービスが、平成24年度から法律改正により、児童福祉法の児童発達支援と放課後等デイサービスに変更となり、ぴーすもそれに伴い事業変更を行いました。平成25年度は、ぱんだは小学部・中学部・平日幼児とぼんたは中学部・高等部・地域として、2箇所の活動場所での活動に組み換えを行いました。

●活動の目的

単なる「預かり」ではなく、個々に応じた「発達の支援」が目的です。一人一人の障がい特性や、持っている力（苦手なことできないことも含め）をしっかりと捉え、その力を「より伸ばす方法」や「できる工夫」など、将来の『その子らしい自立』を目標に日々の支援をしています。

「今、楽しく暮らす」ことをベースに「自ら成長する力をつける」ことを目指し、支援者は大人の目線ではなく、子どもに寄り添って年齢らしい暮らしができる環境作りのお手伝いをしています。

例えば・・・友だちとコミュニケーションがうまく出来ない子には、その子に応じたやりとりの方法や環境を整え、「おしゃべりしたい意欲」を育てる支援。家庭ではなかなかできない経験として、小さな集団の中で、「順番を守るなどルールを覚え、楽しく遊ぶ」場面作り。福祉用具や支援グッズを利用しながら「自分でできる」練習などなど一人ひとりの子どもの「こうなりたい」という心の声に耳を傾けて個別支援計画を立て、それを基に家庭と連携しながら、放課後や休日の活動をしています。土曜は、余暇を楽しむ力の為の活動でプログラムがあります。

●ぴーすの児童デイぱんだ 活動紹介 (記:板野) -----

●活動概要

【場所】北区百舌鳥梅町

【日時】平日13:00~17:00 学校休日は10:00~17:00
土曜10:00~13:00 幼児(音楽活動・アクティブ室内遊び)
13:00~17:00 学齢期(運動・アート・個別音楽)

●平成25年度の利用者数: 幼児~中3 年間利用のべ人数2477人

== 活動の様子 ==

昨年からの活動、集団で府大散策(運動)は、みんなの力がついてきています。みんなで行きたいコース所を決めて、歩く順番ルールが守れるようになってきています。

木・金は制作活動(いろいろな素材に触れる)です。季節に合わせたテーマで、いろいろな素材を使いながら、それぞれに力を出してくれています。

お手伝い活動では、掃除のなかでそれぞれにできることみきわめ、活動の一つとして行っていくうちに、自ら動いて片づけが出来る様になりました。「自ら動く」子どもたちの姿は、これからも続いていくと思われます。

== ぱんだスタッフの感想 ==

Aスタッフ

児童デイぱんだでの2年目が終わり、25年度は改めて子ども達にとってのスケジュールの重要性を実感した日々でした。大きいスケジュール+それぞれのお子さんに合ったスケジュールを用意することで、動き辛かった場面でスムーズにみんなと行動できるようになり、1回目は戸惑ってしまったことも、『どこがわからなかったのか…』『こうしたらどうか?』とスタッフ間で話し合い、色々と試行錯誤をしながら行うことで、(特に夏休み)それぞれにあったプログラムができたと思いました。

また、『ゆっくりする』や『?』の絵カードなど今まで使っていなかったカードを増やすことで、子ども達とのやりとりもしやすくなり、活動の幅が広がり見通しが持ってスケジュールに積極的に取り組めるようになったお子さんもいました。

思い返すとたくさんの成長した子ども達の姿を見ることができた1年でした。この経験を土台にして、26年度ぱんだも子ども達にとって充実した日々になるようにしていきたいと思っています。

Bスタッフ

平日の児童発達支援は、昨年10月から本格的にスタート。主に、保育園や通園に行く前の3歳・4歳のお子さんの利用が多かったです。初めてお母さんと離れ集団生活に入るお子さんが多く、最初は『何でこんなところに行か



なあかんのー?』と大泣きしている間に、お母さんのお迎えになる子どもさんがほとんどでした。

それが、2回目・3回目とぼんだに来る回数が増えるにつれて、泣き止む時間が増えて、好きなおもちゃを見つけたり、好きな絵本を楽しみにしたり、好きなスタッフが来てふれあって遊べるようになったり、卒業する3月には、しっかりスケジュールが入り、わざと着替えの途中で逃げ出してスタッフの反応を見たり、甘えたり、お友達と関わろうとしたり、我が家のようにリラックスされていまいた。いろいろな笑顔・感情を出してくれて、スタッフの活力となりました。

今後も続いていく長い集団生活の第1歩を、ぼんだでスタートしてくれたお友達。短期間でしたがそのスタートに関われたことをとても光栄に思っています。

●ピーすの児童デイ ぼんだ 活動紹介 (記：松本) -+++++

●活動概要

【場所】 北区百舌鳥本町

【日時】 平日 下校～17:00 (支援学校中学部)、下校～17:30 (支援学校高等部)
下校～18:00 (地域小中学校) 学校休日は10:00～17:00

土曜日 10:00～14:00 (中高校生 昼食クッキング)

14:00～17:00 (幼児～小学校3年生 おやつクッキング、アート)

●平成25年度の利用者数：幼児～高3 年間利用のべ人数 2356人

== 活動の様子 ==

曜日ごとにプログラムを設定し、お仕事・おやつクッキング・アートなどの活動を行いました。

個別・または友人といっしょにすることを意識した活動内容です。グループ活動としては、ボードゲーム・トランプゲームなど、友だちや指導員と一緒に順番やルールを覚えながら「集団で」遊ぶ取り組みを行いました。

長期休みには、大仙公園・緑化センター・サイクルセンターなどへの散歩、堺市役所の展望台探索、堺市立健康福祉プラザの体育館での活動など身体を動かす活動や、マクドナルド・バーミヤンなどでの外食・昼食クッキングなどの活動を行いました。地域グループの昼食クッキングでは、メニューをグループで決めて材料の買い出しなども含め、みんなで協力して作ることで集団の意識を高める活動も行いました。

支援学校中・高校生グループでは、通常活動におやつクッキングをして、見通しの持てる活動として定着し、また作業もスムーズに行えるようになっていきます。

== 児童デイ・スタッフの感想 ==

Aスタッフ

地域の学校に通う小・中学校のメンバーは、集団を意識して活動を行いました。ボードゲームでは、手先の不器用な子が負けが続いてしまうこともあるのですが、常に1番になりたい子が、その子のサポートを自然に引き受けてくれたりする姿が見られるようになりました。また、子ども同士のやり取りでさりげなくみんながゲームに参加しやすい雰囲気を作っていけるようになってきました。気候のいいときには、外へ行き体をいっぱい動かして遊びました。

支援学校に通うメンバーは、個別または友人とふたりでいっしょにすることを意識しました。その中で、それぞれのできることをさらに確実なものになるように取り組みました。特に、おやつクッキングが好きな子が多く、メニューはフライドポテト、ホットケーキ、たこ焼きをローテーションで行いましたが、どれも見守りだけで工程や作業の理解はバッチリできていました。繰り返し行うことで、見通しが持て、安定した活動につながりました。

Bスタッフ

土曜日の午後は、幼児～小3までの子どもたちで、第1,3はアートの活動、第2,4はおやつクッキングをしています。

4月はじめは、不安そうにお母さんから離れていた子どもたちも、スタッフとの関係性ができてきて、ぼんだでの活動に見通しがつく頃には、笑顔でお母さんと離れるようになりました。

活動は、アートではいろんな素材を使って、手先だけでなく体も使って作ることを意識しました。作ったものを飾るだけでなく、それを使って遊べるようなものにもしました。

おやつクッキングは、主にホットケーキとジャガイモのお焼きを作りました。食べるのが苦手な子も作るのはいくらでも、お母さんへのお土産にしたりしました。

児童の移動支援	OJT	移動支援ネット	6/7
あいふあいる	外部	子ども家庭課	6/26
心の問題にふみこんで	外部	さかい放連会	6/28
運転安全講習	外部	さかい放連会	7/2
創出事業プレゼン	OJT	堺市	7/26
支援技術研修	外部	なんとカンファ	8/31
当事者向け防災ワーク	OJT	ばれっと	9/30
地活交換会	外部	ばれっと	9/11
防災ワークショップ	OJT	もず支援学校	10/25
支援を必要とする子どもの性と生	外部	さかい放連会	10/9
ムーブメント教育療育基礎	外部	大阪ムーブメント	10/19
「構造化」基礎講座	外部	自閉eサービス	10/19
IPAD 活用セミナー	内部	ばれっと	11/20
福祉用具専門相談員指定講習	外部	総合健康財団	11/2
NPO 会計基準セミナー	外部	堺市民協働課	11/5
ボランティアについて	外部	地活情報交換会	11/13
障害者長期計画専門部会	OJT	堺市	11/21
「コミュニケーション」基礎講座	外部	自閉eサービス	11/16
知的障害・発達障害のある人のアンガーコントロールトレーニング	外部	砂川厚生福祉	12/7
障がいのある子どもの発達と保護者支援	外部	子ども家庭課	12/11
動けない子供の支援	外部	さかい放連会	12/3
アセスメント学習	外部	渡辺元嗣先生	12/12
ATAC	外部	e-AT 利用促進協会	12/14
衛生推進者講習	外部	大阪府労働基準局	1/7
NPO 情報発信	外部	市民活動コーナー	1/16
インテーク	外部	渡辺元嗣先生	1/16
児童発達支援センター見学会	外部	法人	1/20
虐待防止研修	外部	堺市	1/29
アセスメント学習	外部	渡辺元嗣先生	2/6
ヒヤリハット実態交流	外部	児発連絡会	2/7
給付費算定説明虐待防止	外部	子ども家庭課	2/12
問題行動への対応	外部	さかい放連会	2/14
乳幼児発達保育現場について	外部	児発連絡会	2/19
さかい放連会勉強会	外部	さかい放連会	3/14
トータルセミナー十三	外部	おめめどう	2/22

●**ぴーす会議**（記：山本明） +-----+

▼**平成25年度 理事会**

4月8日（月）、4月22日（月）、4月30日（月）
5月24日（金）、6月7日（金）、6月25日（火）
7月10日（水）、8月2日（金）
9月6日（金）、10月3日（木）、10月30日（水）
12月6日（金）、1月6日（月）
2月7日（金）、3月7日（金） 計15回 開催

▼**平成25年度 総会**

5月24日（金）10：00～11：15
出席者11名（内委任状出席者4名）



【制作】 特定非営利活動法人 ぴーす

〒591-8032 堺市北区百舌鳥梅町3丁 39-32

TEL 072-250-9060 FAX 072-250-9061

Mail p-office@p-s-sakai.net HP <http://p-s-sakai.net>